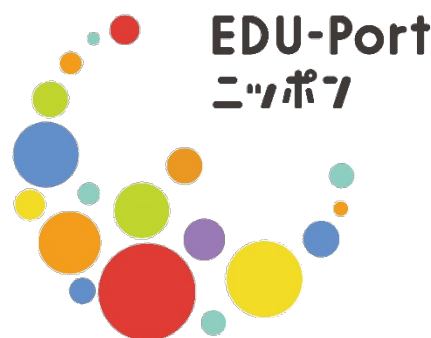


* EDU-Port事業報告 (HUGLI活動報告No.48)

カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援事業に協力しました(19)



活動日時 2019年7月4日(木) – 7月16日(火)

活動従事者 草原和博, 桑山尚司, 大坂遊 (教育研究推進員), 守谷富士彦 (教育研究推進員)



広島大学インキュベーション研究拠点「教育ビジョン研究センター (EVRI)」は、2018年度文部科学省「日本型教育の海外展開推進事業 (EDU-Port ニッポン)」応援プロジェクトに採択され、「カンボジアの教科書出版会社と教員養成大学をつなぐ日本型「社会科教科書の編集・活用システム」の構築支援 (代表: 桑山尚司) に取り組んでいます。

この活動の一環として、カンボジアで教科書出版を認められた唯一の担当部門 (Publication and Distribution House) の副所長1名が来日しました。この研修員は、並行して実施されたJICA草の根技術協力事業「カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援」で来日したカンボジア教育省の研修員6名とともに、東京と広島でカリキュラムや教科書開発に関わる2週間の研修に参加しました。

7月4日～6日の東京研修では、国家カリキュラムの開発プロセスや、教科書検定制度・教科書会社の役割について、これらの業務に携わった経験を持つ方々から学びました。

とくに5日の東京書籍と教科書研究センターの訪問は、「国家カリキュラムの改訂に対応した教科書や教師用指導書の編集プロセス」「教科書の編集・出版作業で実際に使用している機材」「世界各国の多様なデザイン・コンセプトの教科書」「教科書検定の制度や手続き」について知ることができ、研修員にとって特に充実した内容になったようです。

この他にも、7月8日～16日の広島研修では、専門家から社会科教科書の編成原理の情報提供を受けたり、広島大学附属小学校を訪問して社会科授業で教科書が使用される様子を観察したりするなどして、教科書開発と活用に関わる理論や実践を学びました。

研修員は、研修を受けている教育省の6名のスタッフとともに、子どもの探求的な学びや教師の主體的な教材研究に開かれた社会科教科書を開発するにはどうすればいいかを検討していました。また、そのノウハウを次世代に継承していくにはどうすればいいかについて、所属や立場をこえてアイデアを出し合い、議論していました。



HIROSHIMA UNIVERSITY

教育ビジョン研究センター (EVRI)

739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1
広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

URL :

http://evri.hiroshima-u.ac.jp/

EVRI HP/Facebook

